

【添付資料】

～各社からのコメント～

・インテル株式会社様

インテル株式会社は、本日、富士通株式会社が最新のデュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー 5000番台を搭載した「TRIOLE BladeServer」を発表されたことを歓迎いたします。デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサー 5000番台を搭載したサーバー・プラットフォームは、デュアルコア、インテル® バーチャライゼーション・テクノロジー、FB-DIMMメモリーのサポートや高速化されたシステム・バス(1066MHz)など、数々の革新技術を導入することにより、汎用サーバー/ワークステーションの処理性能と信頼性を大幅に向上します。また、先進の65nmプロセス技術を採用することにより、性能のみならず、電力効率の改善も実現しています。インテルは今後もより堅牢性の高いシステムの構築に向けプラットフォーム技術の革新につとめるとともに、エンタープライズ分野におけるインテル・ベース・サーバーの導入拡大に向け、富士通と協力してまいります。

代表取締役共同社長
吉田 和正

・株式会社エーピーシー・ジャパン様

「TRIOLE BladeServer」の発足を APC Japan は大変歓迎しております。更にこの協業体制の枠組みに APC Japan が参加出来ることを、大変光栄に思います。

APC Japan は長年、富士通株式会社のエントリーサーバーからミッションクリティカル領域まで UPS を含んだ物理インフラを提供させて頂きました。今後は Blade 導入に不可欠である電力・冷却・重量のファシリティソリューションの供給を強化する所存でございます。

富士通の「TRIOLE BladeServer」と APC Japan の InfraStruXure Solution を融合させ、更なる Blade ビジネスのシナジー効果を発揮させて頂きたいと考えております。

代表取締役社長 兼 米国 APC アジア・パシフィック地域担当 副社長
デビッド・プルマー

・シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社様

シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社は、ブレードサーバを中核にハード、ソフト、サービスを体系化した富士通株式会社の「TRIOLE BladeServer」の発表を歓迎いたします。弊社のCitrix Presentation Serverを富士通の「TRIOLE BladeServer」に組み入れることで、アプリケーションの統合、仮想化を可能にし、ITインフラの情報セキュリティを強固にすることで内部統制の要求にも対応できます。富士通とは、以前よりシンクライアントとブレードサーバでのセキュリティ提案を展開しており、今回の「TRIOLE BladeServer」で更にアライアンスを深め、お客様によりよいソリューションを提供して参ります。

代表取締役社長
大古俊輔

・マイクロソフト株式会社様

マイクロソフト株式会社は、今回の富士通株式会社のブレードサーバソリューション体系「TRIOLE BladeServer」の発表を歓迎いたします。これまでも、マイクロソフトは富士通と共に、各種製品、ソリューション、サービスなどを強化して参りましたが、さらにMicrosoft® Windows Server™ 2003 R2ファミリーを搭載した本ソリューション体系の登場により、弊社が提唱するDynamic Systems Initiativeを実現するサーバ集約・統合及びミッションクリティカル市場に、より高いパフォーマンス、TCOに優れたシステムを提供できるものと確信しております。

業務執行役員 サーバープラットフォームビジネス本部長
ガス フォート

・レッドハット株式会社様

レッドハットは、富士通株式会社の「TRIOLE BladeServer」の販売開始を歓迎いたします。ビジネスの継続性、効率性を追求すると共に運用や管理性の向上を実現する「TRIOLE BladeServer」は、レッドハットが注力するミッションクリティカルな業務向けのサービス・アーキテクチャを実現する為のITインフラ体系になると確信致しております。レッドハットは今後も富士通との密接な協業を推進し、オープンソースおよびLinuxの普及に貢献してまいります。

代表取締役社長
藤田祐治

・VMware, Inc.,様

VMware は、日本における富士通株式会社との緊密な協力関係がますます発展していくことを非常に光栄に思っています。弊社ではこのたび仮想化の能力を高めた VMware Infrastructure 3 を発表しましたが、「TRIOLE BladeServer」の中核となる PRIMERGY ブレードサーバの認証についても富士通、VMware の両社で共同作業を進めており、これにより、ミッションクリティカルなビジネスを支える、最適化された仮想化インフラストラクチャを顧客に提供することができるようになるものと確信しております。

データセンターおよびデスクトッププラットフォーム製品担当
副社長 ラグー ラグラム